

令和4年度（2022年度）

管理事業名	医療政策事業				総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康		
						政策 4	健康・医療のまちづくり		
						施策 3	地域医療体制の充実		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1	保健衛生総務費		
部局名	健康医療部	予算執行 所属	健康まちづくり室、保健医療総務室						
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 救急医療や在宅医療をはじめとした地域医療体制の充実を図る。 <b>【概要】</b> ・初期救急医療における機能分担により、二次救急医療機関の負担の軽減を図るため、豊能広域こども急病センターへの財政支出 ・地域の中核病院として救急医療等の政策医療を担う地方独立行政法人市立吹田市民病院に対する運営費負担金の財政支出 ・吹田市医療審議会運営、地域医療推進、豊能二次医療圏救急医療対策事業経費補助金負担、吹田市保健所運営協議会運営、大阪府医療計画に関する懇話会等運営、災害時救急医療器具等整備事業等補助、新型コロナウイルス感染症対策支援等									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
かかりつけ医を有する人の割合	%	R2年度調査 57.0	-	-	「医療に関する市民アンケート調査」（3年に1度）でかかりつけ医があると答えた人の割合
地域医療推進に関する講演会の開催数、参加者数	回 人	-	-	1 146	吹田市地域医療推進市民講演会の参加者数
豊能広域こども急病センターの吹田市民の受診患者数	人	2,039	2,982	4,246	全体の受診患者数の内、吹田市民の延べ受診患者数
豊能二次医療圏救急医療対策事業の補助金対象病院における時間外受入患者数	人	9,680	9,163	10,362	豊能二次医療圏救急医療対策事業の補助金対象病院における延べ救急患者受入数（市立吹田市民病院、済生会千里病院、済生会吹田病院、井上病院、大和病院、吹田徳洲会病院、協和会病院）

II 活動実績・成果

<p>【指標1】かかりつけ医を有する人の割合についての評価          ・吹田市民がかかりつけ医を持つ割合 令和2年度：57%（3年に1度のアンケート調査のため、令和3年度及び令和4年度は実施せず）          ・多くの市民がかかりつけ医を持つことにより、医療機関の適正受診へと繋がり、効率的な医療提供体制を構築することができる</p> <p>【指標2】地域医療推進市民講演会の参加者数についての評価          ・令和4年度：146人（令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）          ・地域医療に関する講演会に参加することで、医療機関の役割や在宅療養という選択肢を知り、医療のかかり方等について考えていただく機会となる</p> <p>【指標3】豊能広域こども急病センターの吹田市民の受診患者数についての評価          ・吹田市民の受診患者数 4,246人（前年度比：1,264人の増）          ・受診患者数の増は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による受診控えが回復しつつあることによるもの</p> <p>【指標4】豊能二次医療圏救急医療対策事業の補助金対象病院における時間外受入れ患者数についての評価          ・令和4年度：10,362人（前年度比：1,199人の増）          ・受診患者数の増は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による受診控えが回復しつつあることによるもの          ・豊能二次医療圏救急医療対策事業の対象病院に財源を措置することにより、救急患者の受入体制の確保に繋がる</p> <p>【財務情報に基づいた評価】          ・新型コロナウイルス感染症に関する府支出金、及び吹田市民病院への派遣職員の減少に伴う人件費負担金収入が前年度から減少したことにより、一般財源充当比率が前年度比で4.1ポイント増加した。</p>	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>・初期救急医療における機能分担により、市民病院等の二次救急医療機関の負担を軽減するため、引き続き豊能広域こども急病センターへの継続的な財政支出が必要。</p> <p>・地方独立行政法人市立吹田市民病院は、地域の中核病院として、採算ベースに乗らない救急医療や小児医療等の政策医療を担う重要な役割が求められており、安定的かつ継続的な医療提供を行うにあたり、運営費負担金による財政支出や計画的な医療機器更新への対応が必要。</p>	<p>・入院を必要とする重症患者を受け入れる二次救急医療機関の運営に対し、4市2町が共同で財政支援を行うことにより、二次救急医療体制の確保・整備が図られるため、引き続き豊能二次医療圏救急医療対策事業への補助金負担が必要。</p>
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	62,604	61,218	△1,386
未収金	-	-	-	地方債	45,624	45,624	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	16,980	15,594	△1,386
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	609,304	545,212	△64,092
土地	-	-	-	地方債	447,403	401,779	△45,624
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	161,901	143,433	△18,468
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	671,908	606,430	△65,477
土地	-	-	-	純資産	3,028,936	3,094,413	65,477
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	3,700,844	3,700,844	-				
出資金	3,300,844	3,300,844	-				
長期貸付金	400,000	400,000	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,700,844	3,700,844	-	負債及び純資産の部合計	3,700,844	3,700,844	-

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	2,716	9,046	5,675	△3,371
府支出金(経常費用充当)	27	13,088	86	△13,002
財産収入	-	-	-	-
寄附金	500	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	3	8	8	-
その他	234,124	196,514	136,054	△60,461
経常収入 小計(a)	237,370	218,656	141,823	△76,833
給与関係費	210,320	206,958	181,682	△25,276
物件費	6,318	65,929	10,196	△55,734
維持補修費	1,395	244	-	△1,244
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,422,458	1,491,312	1,557,744	66,432
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	18,208	16,980	15,594	△1,386
退職手当引当金繰入額	△5,654	10,631	△5,765	△16,396
支払利息	516	475	433	△41
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	1,653,561	1,792,529	1,759,884	△32,645
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△1,416,192	△1,573,872	△1,618,060	△44,188
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△1,416,192	△1,573,872	△1,618,060	△44,188
一般財源充当額	1,854,562	1,623,746	1,683,538	59,792
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	438,371	49,873	65,477	15,604

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【BS】 出資金	市民病院設立に係る出資金 3,300,844千円
【BS】 地方債	市民病院に係る地方債元金償還による45,624千円
【PL】 府支出金(経常費用充当)	令和3年度に設置した入院待機ステーションに係る、大阪府入院患者待機ステーション設置市町村等支援事業補助金13,000千円の減
【PL】 物件費	令和3年度に設置運営した入院待機ステーションに係る、看護師派遣業務等委託料36,925千円、コンテナ等使用料及び賃借料19,607千円、備品購入費7,423千円の減
【PL】 負担金・補助金・交付金等	市民病院運営費負担金20,723千円の増、豊能広域子ども急病センター管理運営費負担金7,672千円の減、医療機関等物価高騰対策応援金に係る補助金66,550千円の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市内二次急病 院の受入患者1人	コスト 1,458 円 実績 9,680 人	1,606 円 9,163 人	1,428 円 10,362 人
子ども急病セン ター利用市民1人	コスト 25,538 円 実績 2,039 人	10,423 円 2,982 人	5,514 円 4,246 人

分析内容  
経常経費のうち豊能二次医療圏救急医療対策事業負担金と、豊能広域子ども急病センター管理運営費負担金を、それぞれ実績値で除し、算出している。  
令和4年度は前年度より受診患者が増加したため1人当たりの単価が減少した。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	237,370	218,656	141,823	△76,833
行政サービス活動支出	1,677,008	1,796,778	1,779,737	△17,041
行政サービス活動収支差額	△1,439,638	△1,578,122	△1,637,914	△59,792
投資活動収入	470,700	-	-	-
投資活動支出	840,000	-	-	-
投資活動収支差額	△369,300	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	45,624	45,624	45,624	-
財務活動収支差額	△45,624	△45,624	△45,624	-
収支差額 合計	△1,854,562	△1,623,746	△1,683,538	△59,792
一般財源充当額	1,854,562	1,623,746	1,683,538	59,792
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	190,545	4,538	24.63
会計年度任用等	763		
特別職非常勤	202		
合計	191,511		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		72.4	88.1	92.2	4.1